#### 【生徒の実態】

- ・朝ごはんを毎日食べる生徒 94%
- ・好き嫌いがある生徒 一%
- ・肥満傾向のある生徒 5%
- · 給食残食率 9.9%
- 【保護者・地域の実態】
- ・朝食を欠食する人 30.1%
- ・塩分を控えるようにしている人 30.8% (令和3年度江戸川区食育に関するアンケート)

## 学校教育目標

- 探求心をもち学ぶ生徒
- 礼儀正しく豊かな心をもつ生徒
- 健やかな体をもつ生徒

#### 【第4次食育推進基本計画】

- ・朝食を欠食する子ども 0%
- ・生活習慣病予防のために普段から適正体重の維持や 減塩に気を付けた食生活を実践する国民 75%以上
- 【東京都食育推進計画(令和3年度~7年度)】 ・主食・主菜・副菜を組合せた食事を1日2食 以上食べる人の割合 66.8→90%
- 【江戸川区の教育目標・基本方針】
- ・こころ豊かに たくましく 教育の江戸川

### 食育の視点

- ◇食事の重要性【重】
- ◇心身の健康【健】
- ◇食品を選択する能力【選】

江戸川区が目指す食育の

3本柱の中で当てはまる

①若い世代から食育を進

め、健康寿命の延伸につな

③食の循環や環境を意識し

もの(平成30年策定)

- ◇感謝の心【心】
- ◇社会性【社】
- ◇食文化【文】

## 食に関する指導の目標

### (知識・技能)

食事の重要性や栄養バランス、食文化等についての理解を図り、健康で健全な食生活に 関する知識や技術を身に付けるようにする。

## (思考力・判断力・表現力等)

食生活や食の選択について、正しい知識・情報に基づき、自ら管理したり判断できる能力を養う。

#### (学びに向かう力・人間性等)

主体的に、自他の健康な食生活を実現しようとし、食や食文化、食料の生産等に関わる 人々に対して感謝する心を育み、食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を養う。

幼稚園・保育所 幼保連携型 || 認定こども園 |

げる

た食育の推進

小学校

○日常の食事に興味・関心をもち、食環境と自分の食生活との関わりを理解できる。【重】

1年

○自らの健康を保持増進しようとし、自 ら献立をたて調理することができる。 【健】

○生産者や自然の恵みに感謝し、食品を無駄なく使って調理することができる。 【心】

各学年の食に関する指導の目標

○自分の食生活を見つめ直し、 望ましい食事の仕方や生活習慣 を理解できる。【健】

○食品に含まれている栄養素や 働きが分かり、品質を見分け、適 切な選択ができる。【選】

○ 環境や資源に配慮した食生活を実践しようとすることができる。【心】

3年

○食事を通してより良い人間関 係を構築できるよう工夫するこ とができる。【社】

○諸外国や日本の風土、食文化 を理解し、自分の食生活は他の 地域や諸外国とも深く結びつい ていることが分かる。【文】

## 食育推進組織(給食運営協議会)

委員長:校長(副委員長:副校長)

委員:生活指導主幹、養護教諭、学校栄養職員

※必要に応じて、保護者代表、学校医・学校歯科医、学校薬剤師の参加

# 食に関する指導

- 教科等における食に関する指導:関連する教科等において食に関する指導の視点を位置付けて指導

社会、理科、技術・家庭、保健体育、道徳、総合的な学習の時間、特別活動 等

給食の時間における食に関する指導: 食に関する指導:献立を通して学習、教科等で学習したことを確認

- 給食指導:準備から片付けまでの一連の指導の中で習得

個別的な相談指導:肥満・やせ傾向、食物アレルギー・疾患、偏食、スポーツ

## 地場産物の活用

物資選定委員会:年1回、構成委員(給食運営協議会)、活動内容(年間生産調整及び流通の確認) 地場産物等の校内放送や指導カードを使用した給食時の指導の充実、教科等の学習や体験活動と関連を図る、その他

### 家庭・地域との連携

学校だより、食育(給食)だより、保健だより、学校給食試食会、給食運営協議会、学校保健委員会 自治体広報誌、ホームページ、学校運営協議会、地域学校協働本部、その他

## 食育推進の評価

活動指標:食に関する指導、学校給食の管理、連携・調整

成果指導:生徒の実態、保護者・地域の実態